解 説

EUにおける口蹄疫の発生と我が国の対応

杉浦勝明

農林水産省生産局畜産部衛生課

Breakout of Foot and Mouse Disease in Europe and Measures Taken by the Japanese Government

Katsuaki SUGIURA

今年2月以降、英国をはじめとするEU諸国において口蹄疫が発生したところ、発生の概要及び我が国が侵入防止の観点から講じた措置の概要を紹介する。

1 EUにおける口蹄疫の発生状況

(1) 英国における発生状況

英国（グレートブリテン）では今年2月に20年ぶりに口蹄疫の発生が確認された。2月21日（現地時間では20日）にエセックス郡のと畜場に搬入された豚及びその近隣の肉用牛農場で最初の発生が報告されて以降、イングランド地方を中心に、毎日数件から数十件の発生が報告され、3月末には一日当たりの発生件数が50件に達した。その後、一日当たり発生件数は減少しているが、4月11日にはそれまで発生のなかったスコットランド地方でも発生が認められた。5月31日までに1674件の発生が確認されている。同日までに発生農家及び近隣農家7792戸3478千頭の家畜が殺処分の対象となった。EU委員会は2月21日以降6月19日までの予定でグレートブリテン全島からの動物・畜産物の輸出を禁止している。

発生の原因ウイルスのタイプは、Oタイプ（パンアジア型）であり、南アフリカ又は中国から違法に輸入された畜産物を媒体として侵入したと推定されている。疫学的な調査の結果、2月初にタイン・アンド・ウェア郡の養豚場に最初に侵入し、その後、2月19日に通報がなされるまでに人、家畜の移動等を通じて広がっていたと考えられている。

英国（北アイルランド）では3月2日にイングランドか

図1 英国における口蹄疫の発生件数の推移

らめん羊を導入した農場で1件発生が認められ、その後4月22日までに3件（計4件）の発生が報告されている。

英国における郡別発生件数を表1に、日々発生件数及び累積発生件数を図1に示した。

(2) その他のEU加盟国における発生状況

英国以外のEU諸国では、英国での初発が確認されるまでに既に移動していためん羊を通じて、3月12日から23日にかけてにフランスで、3月21日から4月22日にかけてにオランダで、3月22日にアイルランドでそれぞれ口蹄疫の発生が認められた（表2）。5月8日以降、EUは英国を除くEU域内での牛・豚の移動制限を緩和したが、めん山羊は依然移動禁止となっている。

フランスでは、3月12日にロアル地方メイエンヌ県のめん羊農場において口蹄疫の発生が認められた。この農場は2月16日にイングランドからめん羊を導入していた農場から500m離れていた。その後、同月23日に初発農場からめん羊を導入していたパリ郊外のセヌ・エ・マルヌ県の農場で2件目の発生が認められた。その後は、発生は報告されていない。

連絡先：杉浦 勝明

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1

農林水産省生産局畜産部衛生課

Tel：03-3591-6584, Fax：03-3508-2546

表1 英国における口蹄疫の郡別発生件数
(2001年2月20日～5月31日)

地 方	郡	発生件数
イングランド	Berkshire	2
	Cheshire	14
	Co Durham	91
	Cornwall	4
	Cumbria	720
	Derbyshire	8
	Devon	166
	Essex	11
	Gloucestershire	76
	Herefordshire	43
	Kent	5
	Lancashire	23
	Leicestershire	4
	Northants	1
	Northumberland	56
	North Yorkshire	56
	Oxfordshire	2
	Shropshire	11
	Somerset	4
	Staffordshire	48
	Teesside	5
	Tyne & Wear	6
	Warwickshire	4
	West Yorkshire	3
	Wiltshire	7
	Worcestershire	26
ウェールズ	Anglesey	13
	Glamorgan	5
	Monmouthshire	22
	Powys	47
スコットランド	Borders	11
	Dumfries & Galloway	176
北アイルランド	Tyrone	2
	Armagh	1
	Antrim	1
計		1676

1月15日以降英国からフランスに輸入された家畜の追跡調査の結果、17県の23農場に19660頭のめん羊が導入され、その後の移動によりさらに36の農場に分散していることが判明した。また、オランダ当局の調査により、英国からオランダ経由でさらに14県の19農場に9372頭の

表2 EUにおける口蹄疫の発生状況

国名	発生状況
英 国 (グレートブリテン)	2月21日発生し、5月231日までに1672件の発生。
英 国 (北アイルランド)	3月2日発生し、4月22日までに4件の発生。
フ ラ ン ス	3月4日、感染の疑いのある家畜を発見。 3月12日及び23日、口蹄疫の発生が各1件確認された。
オ ラ ン ダ	3月20日、感染の疑いのある家畜を発見。 3月21日発生し、4月22日までに26件の発生。
ア イ ル ラ ン ド	3月23日1件発生、その後発生なし。

英国のめん羊が導入されていることも判明した。これらの英国産のめん羊及び接触のあった家畜の殺処分が行われるとともに、英国産のめん羊の10%を対象として血清学的及びウイルス学的検査が行われた。4月3日までに37県の104農場の49227頭の家畜（英国産めん羊20621頭、英国産豚1頭、接触めん羊27507頭、接触牛537頭、豚364頭、山羊197頭）が殺処分され、5076頭の家畜から採血が行われた。オランダの発生と関連のある10県12農場の家畜4391頭（牛131頭、豚1817頭及びめん羊505頭）が殺処分された。また、セーネ・エ・マルヌ県の発生と関係のあるめん羊1232頭が殺処分された。EUは4月3日以降フランスからの畜産物の輸出規制を解除し、4月13日以降生きた牛の輸出規制を解除した。

オランダでは、3月21日にオーバーライセル州及びヘルダーランド州で本病（O型）の発生が認められた。フランスのメイエンヌ県経由で2月24日に輸入されたアイルランド産の子牛が侵入源と推定されている（このメイエンヌ県の経由農場ではこれらの子牛が経由する直前に英国の発生農場由来のめん羊が飼養されていたことが判明している）。その後同地方で4月9日までに20件の発生が報告された。さらに、4月12日には北部のフリースランド州でも本病の発生が認められ、4月22日までに、オランダでは計26件の発生が報告された。その後は、発生は報告されておらず、EUは6月26日以降輸出規制を解除した。

発生農場の家畜の全頭殺処分（牛3955頭、めん羊259頭、山羊1287頭）及び発生農場から1 km以内にある近隣農場の家畜の予防的殺処分、半径3 kmの防疫地域及び

半径10kmのサーベイランス地域がEU規則に基づき設置された。発生農場を中心とする半径2kmの地域の家畜を対象とする緊急ワクチン接種が実施された。

アイルランドでは、3月22日に英国（北アイルランド）との国境から3km離れためん羊農場で本病の発生が1件認められた。その後発生は報告されていない。同農場のめん羊は発生が疑われた3月20日に殺処分され、4月1日までの発生農場の周辺に設置された防疫地域、サーベイランス地域内のめん羊26801頭、牛600頭、山羊123頭及び鹿15頭が殺処分された。

2 我が国の講じた措置

(1) 発生国に対する措置

今回口蹄疫の発生が認められた英国（グレートブリテン及び北アイルランド）、フランス、オランダ、アイルランドに対しては、発生の疑いがある家畜が発見された時点で偶蹄類の動物及びそれらの畜産物について輸入停止とするとともに、口蹄疫が確認され次第、家畜伝染病予防法施行規則の改正による輸入禁止措置を講じた。ポルトガル、ギリシャ及びルクセンブルグについては、昭和26年より輸入禁止措置がとられている。

(2) EU加盟国のうち口蹄疫未発生国に対する措置

EUでは加盟各国における統一した防疫措置が実施されているにもかかわらず口蹄疫の拡大が続いていることから、既に口蹄疫がEU全体に浸潤・拡大している可能性を否定できないため、EU各国のうち我が国が清浄国として取り扱っている国（フィンランド、スウェーデン、ドイツ、デンマーク、イタリア、ベルギー、オーストリア及びスペイン）から輸入される豚肉等について、3月24日より当分の間、輸入停止措置をとることとした。

・対象品目：偶蹄類の動物、その精液及び受精卵並びにその肉、臓器及びこれらの加工品（3月1日より前にと殺された動物由来のものを除く）

その後、3月25日から4月19日まで家畜衛生専門家を派遣し、現地調査を実施した結果、侵入防止対策、サーベイランス等が的確に実施されていることが確認されたことから、フィンランド、スウェーデン、デンマーク及びオーストリアについては4月25日に、スペインについては5月2日に、ドイツ及びベルギーについては5月15日に、イタリアについては5月29日に輸入停止措置を解除した（表3参照）。これにより、EU諸国のうち我が国が清浄国として扱っている国からの輸入停止措置については、すべての国について解除され、現時点では、従来から輸入禁止であったポルトガル、ルクセンブルグ及びギリシャと、今回発生が確認された英国（グレートブリ

表3 我が国が口蹄疫に関しEUに対して講じた措置

国 名	措 置 の 内 容
ポルトガル ギリシャ ルクセンブルグ	1951年より輸入禁止
英 国 (グレートブリテン)	2001年2月21日より輸入停止、 同3月8日より輸入禁止
英 国 (北アイルランド)	2001年3月2日より輸入停止、 同3月19日より輸入禁止
フ ラ ン ス	2001年3月4日より輸入停止、 同3月27日より輸入禁止
オ ラ ン ダ	2001年3月21日より輸入停止、 同3月27日より輸入禁止
ア イ ル ラ ン ド	2001年3月23日より輸入停止、 同4月3日より輸入禁止
フィンランド スウェーデン オーストリア デンマーク	2001年3月24日～4月24日まで 輸入停止
ス ペ イ ン	2001年3月24日～5月1日まで 輸入停止
ド イ ツ ベ ル ギ ー	2001年3月24日～5月14日まで 輸入停止
イ タ リ ア	2001年3月24日～5月28日まで 輸入停止

注：輸入停止とは動物検疫所による輸入検疫証明書の発行の停止の措置であり、輸入禁止とは家畜伝染病予防法施行規則第43条の表の改正による措置である。

テン及び北アイルランド）フランス、オランダ及びアイルランドが輸入禁止となっている。

(3) その他

EU諸国での口蹄疫の発生に伴い、動物検疫所は、英国から直行便で入国する旅行者並びに欧州のうちフランス、オランダ、アイルランドにおいて家畜関連施設に立ち入った者に対して、到着時に靴底の消毒を実施する等により、口蹄疫の侵入防止措置の徹底を図った。

文 献

- Office International des Epizooties (OIE) : Disease Information Vol.14-No8-20, OIE, Paris 2001
- 農林水産省生産局畜産部衛生課：3月23日、4月25日、5月2日、5月15日及び5月29日付けプレスリリース、農林水産省、2001